

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成22年度取組実績」

20 社団法人東京都小学校PTA協議会

22年度の具体的取組			実績
1. あらゆる分野への参画の促進			
(2) 社会・地域活動への参画促進			
	1. 役職等に固定的な性役割意識をもたず、誰もが自由にその希望・要望に応じて参加できる組織作りを促進する。 2. PTAへの参加、活動形態に柔軟性を持ち、活動時間等を配慮する。父親のパトロール活動や休日の子ども支援活動への参加協力を促進する。		1. 役員、各委員長の役にこだわらず、出来る人が積極的に活動に参加できるよう報告、連絡等を実施し、連携し活動した。 2. 会議、行事の開催においては、仕事を持っている人、または小さい子どもを持つ人などを考慮し、平日開催、土曜日開催、夜間の開催などを設定し、出来るだけ多くの方が参加できる機会を作るよう、努めた。
(3) 仕事と家庭・地域生活の調和がとれた生活の実現			
	② 子育てに対する支援		
	(1) IT機器の利用、役割・仕事分担や時間設定等、誰もが参加できる新たな仕組みづくりを促進する。事例発表等を研修に盛り込み、具体策を提示する。研修活動を行うとともに、相談・交流・情報交換できる場を提供する。 (2) 広く地域社会へ向けて、男女共同参画の必要性和理解協力を広め、参画の促進を図る。祭り・総合的な学習等、さまざまな場面での協力体制を進める。		メールリストを作成し、メールでの連絡、情報交換や、ホームページやブログでの情報発信を行い、誰もが情報を共有しながら参加できる環境づくりに努めた。研修等で意見交換できるように配慮した。 東京都幼小中高PTAリーダー合同研修会 「上手に子どもを突き放せる親になろう～変わりゆく社会を生きる親と子どもの力とは～」※報告書作成配布済。 平成23年1月22日(土)13:30～16:30 講師：米田功氏、太田喜子氏、楠元康紀氏 シンポジウム：講師3名、保護者2名
	子どもの安全を守る活動の促進 (1) 事例発表や研修、話し合いの場を広く提供し、情報を共有するとともに、広く意識を啓発し、活動へとつなげる。 (2) 警察・行政機関等関係諸機関と連携をとり、改善策を話し合い、広く周知する。 (3) 研修・協議・広報等を通じて、子どもが学ぶ環境の整備に努める。		研修等で警察や行政から専門性をもった講演をしていただき、親として大人として、子どもの安全をどのように守っていくのかを考える事ができた。 東京都小学校PTAリーダー研修会 「なぜ？ どうして？ 子供の心がわからない！ ～心に闇を映す親～」※報告書作成配布済。 平成22年11月13日(土)13:30～16:30 警視庁少年育成課学校地域係 瀧澤氏、こども・女性安全対策係 阿部氏、都教育庁指導部 酒井氏 講師：石橋昭良氏
2. 人権が尊重される社会の形成			
(3) 男女平等参画とメディア			
	子どもたちがパソコン、携帯電話、ゲーム機器、漫画・雑誌等と安全に付き合うための注意事項を示した「都小P情報環境7ヶ条」を作成し、実践の輪を広げていきます。		毎年実施している「保護者と先生の意識調査」で、継続的にネット・携帯電話に関する調査を実施。調査結果を広報紙に掲載し、広く問題提議、現状の周知を行なった。
	東京都と心の東京革命推進協議会(青少年育成協会)が行うインターネットやゲームに関する家庭のルールづくりを支援する「ファミリールール講座」のファシリテーター養成講座に参加し、各小学校等での講座の開催に協力していきます。		「ファミリールール講座」のファシリテーター養成及び、「ファミリールール講座」への協力を行っている。

20 社団法人東京都小学校PTA協議会

22年度の具体的取組			実績
3. 男女平等参画を推進する社会づくり			
	(1)教育・学習の充実		
		(1)学校現場での行き過ぎた「男女平等」対応が行われないう、調査・研究活動を行う。(例:男女同室着替等) (2)男女が生涯を通じ、お互いを尊重し、大切にしたい、子どもと心とからだを育む場である家庭及び食生活を重視し、研修や広報等を通じて、その向上を図る。	(1)会議等で、各地域の現状などの情報交換を行い、学校との協議を深め、改善に向けてのPTA支援を行っている。 (2)リーダー研修会や幼小中高PTAの合同研修会等を開催して、家庭教育向上に努めた。